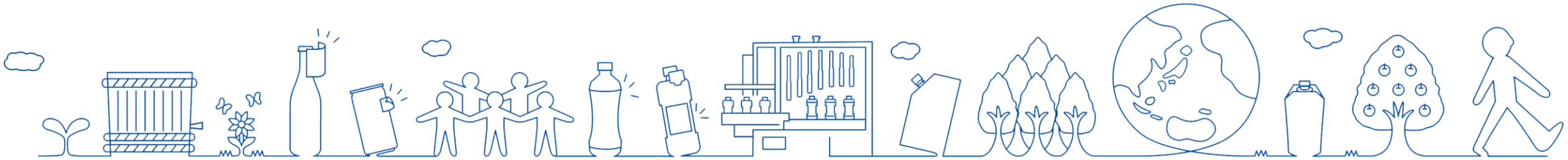
2026年度 第1四半期
決算補足説明資料

2026年8月6日｜東証プライム［7864］

株式会社フジシールインターナショナル



© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

目 次

01　2026年度 第1四半期　業績結果　P.3

02　2026年度 第1四半期　地域別概況　P.11

Appendix　P.16

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

01

2026年度 第1四半期 業績結果

FY2026 Q1 Financial Results

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（1）2026年度 第1四半期 業績結果のポイント

連結売上高	連結営業利益	連結営業利益率
603億円	62億円	10.3%
前年同期比 9.8%増	前年同期比 3.9%増	前年同期比 0.6pt減

- 連結売上高は日本・米州・アセアンが寄与し前年同期比9.8%増収
- 連結営業利益は日本・アセアンが寄与し前年同期比3.9%増益
- 連結営業利益率は10.3%となり、前年同期比0.6pt減
  欧州の機械事業と、米州の訴訟関連費用による一過性要因が影響
- 地域によって進捗差はあるものの、連結業績は順調に進捗しており通期公表値の変更はなし

中東情勢による影響

- フィルム、インキ、溶剤等、原材料調達の支障は生じておらず、今後の懸念も現状では見られない
- 日本、アセアンで原材料費高騰も、タイムリーな価格改定により業績への影響は最小限にとどまる
- 供給優先を前提に、価格改定にご理解をいただけたことから価格改定の取り組みが進展

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（2）連結売上高・各段階利益

（億円）

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減	2026年度 通期公表値	公表比（進捗率）
売上高	549	603	9.8%	2,286	26.4%
営業利益	60	62	3.9%	222	28.1%
営業利益率	10.9%	10.3%	（△0.6pt）	9.7%	（+0.6pt）
経常利益	56	68	21.4%	224	30.5%
経常利益率	10.3%	11.3%	（+1.1pt）	9.8%	（+1.5pt）
当期純利益	43	49	14.3%	153	32.4%
当期純利益率	7.9%	8.2%	（+0.3pt）	6.7%	（+1.5pt）
為替換算レート（平均） USD	152.55	156.96	+2.9%	150.00	+4.6%
為替換算レート（平均） EUR	160.55	183.65	+14.4%	170.00	+8.0%

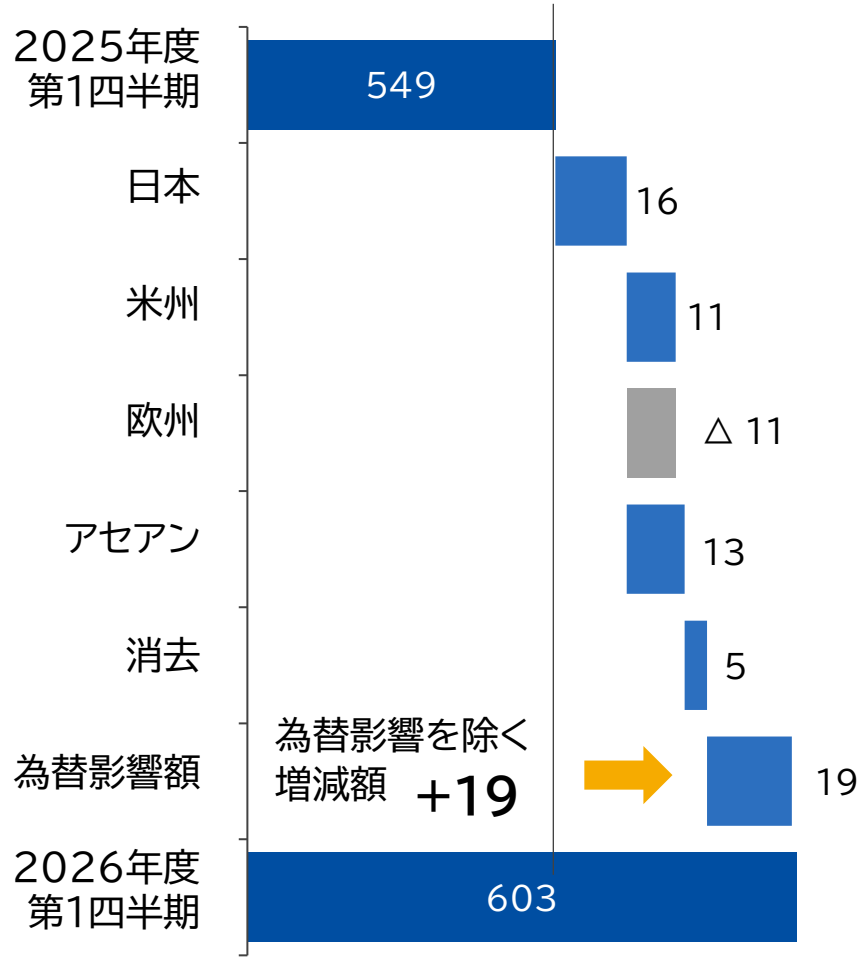
注 第1四半期業績について、日本・Fuji Seal Packaging（Thailand）Co., Ltd.（以下、FSPT）は4月～6月の業績、米州・欧州・アセアン（FSPT除く）は1月～3月の業績

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（3）地域別売上高

（億円）

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	前年比	為替影響除く	
				増減額	増減率
日本	264	280	+16	+16	+6.1%
米州	164	181	+16	+11	+6.8%
欧州	98	99	+0	△ 11	△11.7%
アセアン	46	61	+15	+13	+29.0%
消去	△ 24	△ 18	+5	+5	—
連結	549	603	+54	+34	+6.3%



© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（4）地域別品目別売上高

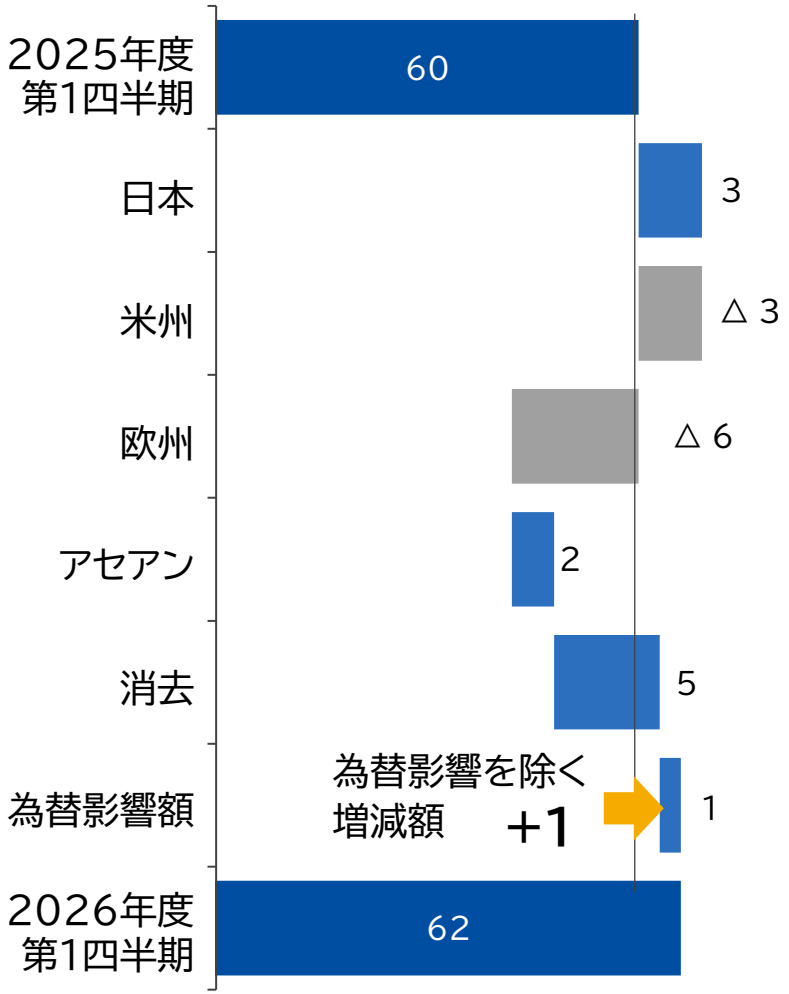
（億円）	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	前年比		
			増減額	増減率	為替影響除く増減率
日本	264	280	+16	+6.1%	—
シュリンクラベル	136	143	+6	+4.7%	—
タックラベル	19	18	△0	△4.1%	—
ソフトパウチ	60	63	+2	+4.9%	—
機械	11	13	+1	+16.8%	—
その他	35	41	+5	+15.4%	—
米州	164	181	+16	+9.9%	+6.8%
シュリンクラベル	140	156	+16	+11.5%	+8.3%
タックラベル	6	7	+1	+16.4%	+13.2%
ソフトパウチ	0	2	+2	+474.9%	+458.8%
機械	17	14	△ 3	△17.9%	△20.2%
欧州	98	99	+0	+1.0%	△11.7%
シュリンクラベル	49	55	+5	+11.8%	△2.3%
タックラベル	19	19	+0	+4.7%	△8.5%
機械	29	24	△ 5	△19.2%	△29.4%
アセアン	46	61	+15	+32.8%	+29.0%
シュリンクラベル	25	30	+4	+19.6%	+16.2%
タックラベル	0	0	+0	+14.6%	+11.4%
ソフトパウチ	19	25	+6	+32.6%	+28.8%
機械	0	4	+3	+431.4%	+416.5%
その他	0	0	+0	+78.8%	+73.8%
消去	△ 24	△ 18	+5	—	—
連結売上高	549	603	+54	+9.8%	—

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（5）地域別営業利益

（億円）

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	前年比	為替影響除く	
				増減額	増減率
日本	30 (11.5%)	33 (12.0%)	+3	+3	+10.8%
米州	22 (13.4%)	19 (10.5%)	△ 2	△ 3	△15.9%
欧州	9 (9.2%)	2 (2.6%)	△ 6	△ 6	△75.5%
アセアン	3 (7.1%)	6 (9.9%)	+2	+2	+79.5%
消去	△ 4	1	+5	+5	—
連結	60 (10.9%)	62 (10.3%)	+2	+1	+2.2%



()内は営業利益率

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

（6）営業外損益・特別損益

（億円）	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	549	603	+54	9.8%
営業利益	60	62	+2	3.9%
営業外収益	1	6	+5	286.4%
営業外費用	5	0	△ 4	△85.2%
経常利益	56	68	+12	21.4%
特別利益	0	0	+0	3469.6%
特別損失	0	0	+0	113.8%
税金等調整前当期純利益	56	68	+12	21.4%
法人税等	12	18	+5	45.8%
当期純利益	43	49	+6	14.3%

為替換算レート（平均）	USD	152.55	156.96	—	+2.9%
	EUR	160.55	183.65	—	+14.4%

営業外収益

- 主な増加要因：当期に為替差益4億円を計上

営業外費用

- 主な減少要因：前年同期は為替差損4億円を計上

特別利益

- 主な内容：固定資産売却益0.3億円

特別損失

- 主な内容：固定資産除却損0.4億円

法人税等

- 日本の課税所得増加他

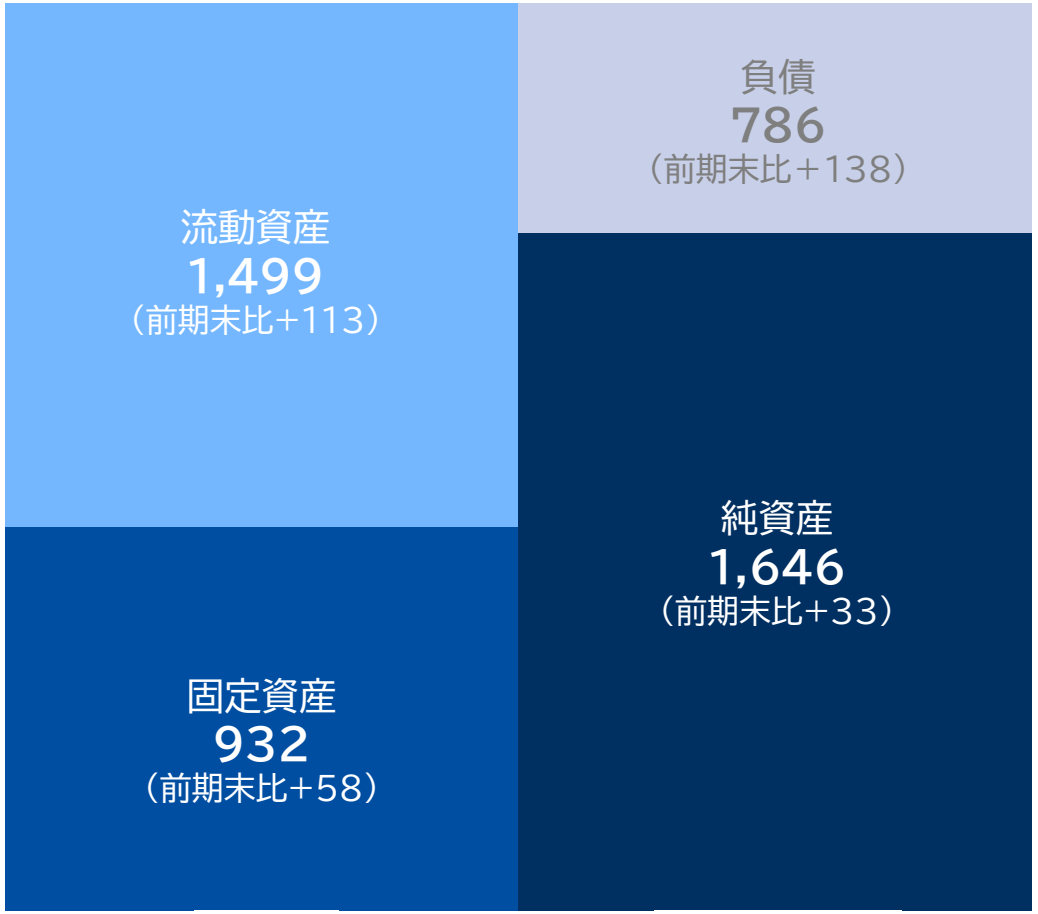
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

(7) B/S

2026年度第1四半期

総資産 2,432(前期末比+171)

(億円)



(億円)		2025年度末	2026年度 第1四半期末	増減
自己資本比率		71.3%	67.7%	△5.1% △3.7pt
有利子負債		111	121	+10
D/Eレシオ		0.07倍	0.07倍	+0.00倍
為替換算レート (期末)	USD	156.56	159.88	+2.1%
	EUR	184.33	183.41	△0.5%

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

02

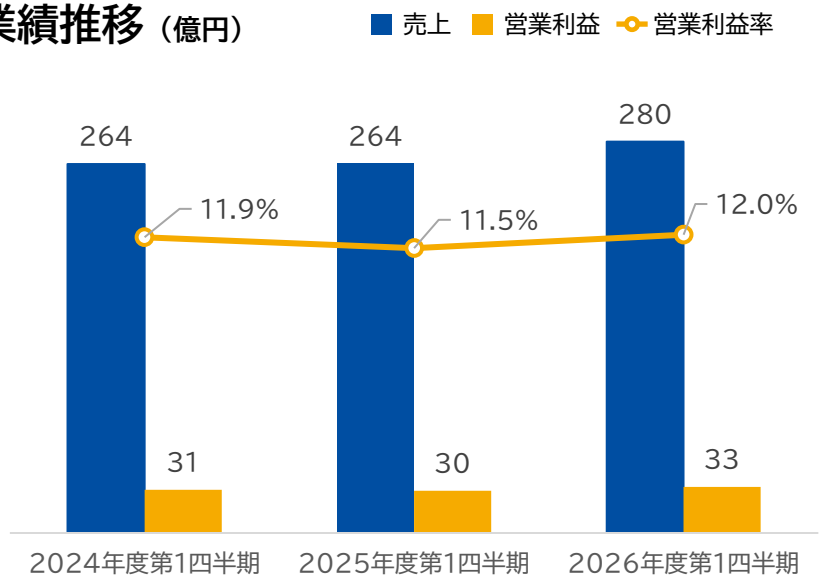
2026年度 第1四半期 地域別概況

FY2026 Overview by Region

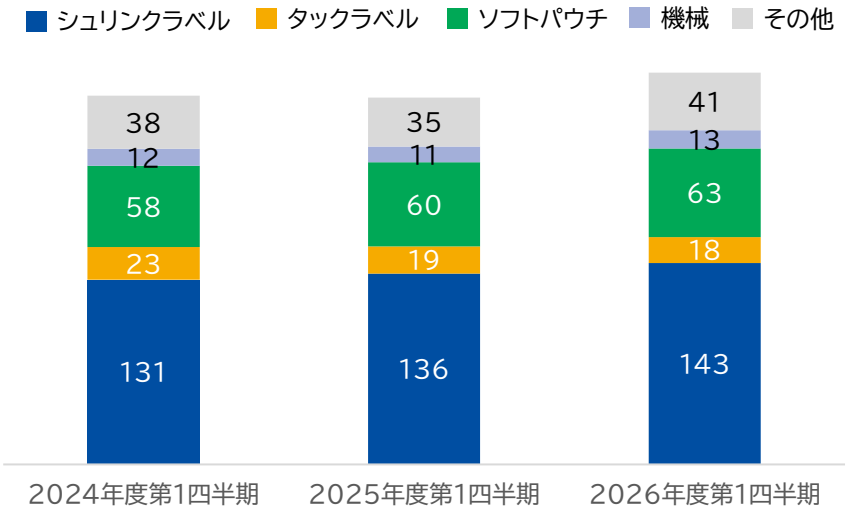
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

日本

業績推移（億円）



事業別売上（億円）



2026年度 第1四半期レビュー

中東情勢による影響
- 原材料価格の高騰に対し、タイムリーな価格改定を実施
- 水性インキラベルは、溶剤供給懸念も追い風となり引き合い増

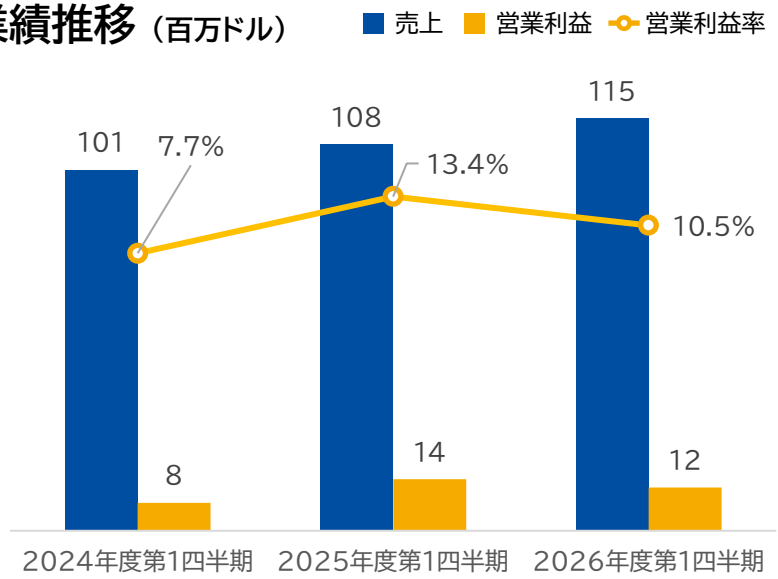
前年同期比	セグメント全体	コメント
↗	売上	中東情勢発生前に公表した価格改定と、 中東情勢を踏まえた価格改定がともに寄与。 加えて、飲料向けパウチおよびCMO事業の伸長もあり増収。
↗	営業利益	タイムリーな価格改定により前年同期並みの利益率を確保。 山形工場閉鎖とタックラベルの製品ポートフォリオマネジメント、 CMO案件も増益に寄与。

前年同期比	事業別売上	コメント
↗	シュリンクラベル	主要顧客向けに実施したタイムリーな価格改定により増収。
↘	タックラベル	不採算製品の戦略的撤退により減収も、利益率改善に寄与。
↗	ソフトパウチ	拡大戦略製品の飲料向けパウチ数量増により増収。 天童新工場立ち上げは計画通り2026年9月竣工で進行中。
↗	機械	前年度売上予定だった新台販売と、アフターサービスが寄与し増収。
↗	その他	拡大戦略製品である高付加価値のCMO案件が寄与し増収。

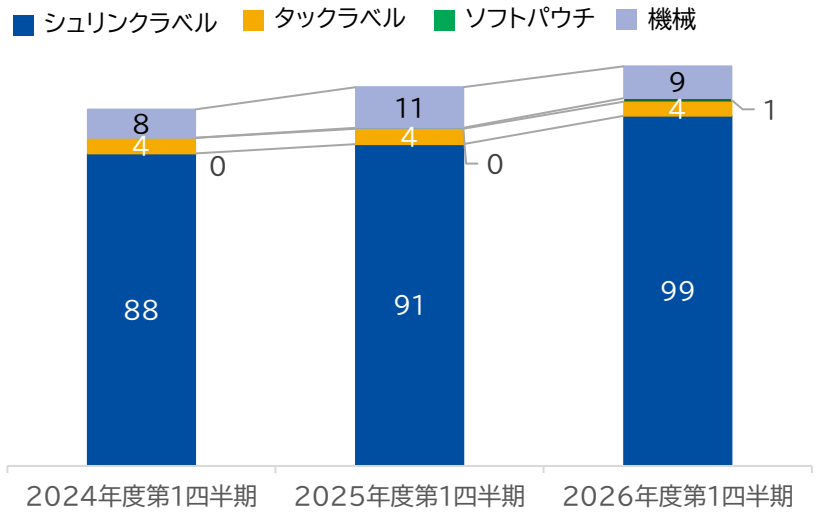
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

米州

業績推移（百万ドル）



事業別売上（百万ドル）



日本円の業績を対象年度の為替レートで除して算出

2026年度 第1四半期レビュー

中東情勢による影響
・ ホルムズ海峡封鎖による影響は軽微　※米州第1四半期が1月～3月のため

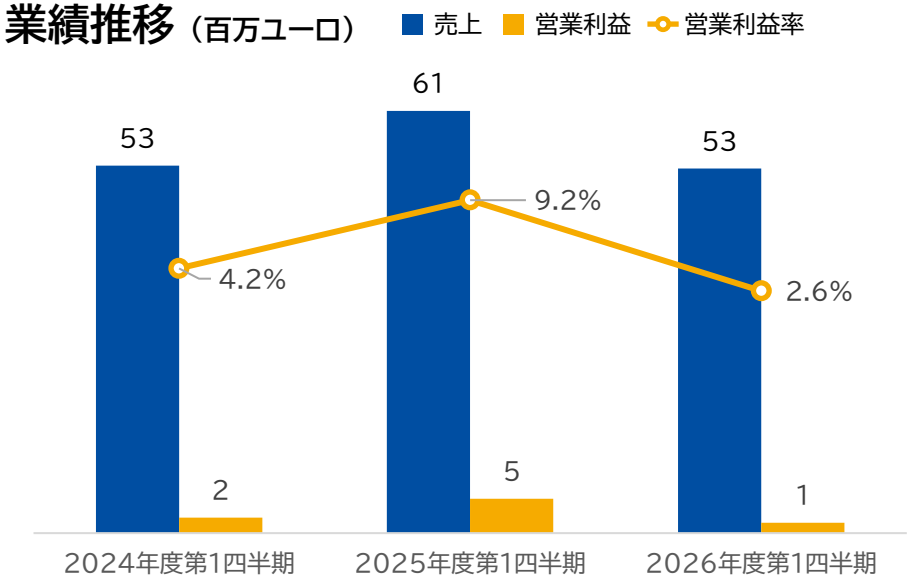
前年同期比	セグメント全体	コメント
↗	売上	シュリンク・タック・パウチ各事業の伸長により増収。
↘	営業利益	寒波による一時的な操業停止と、一過性の訴訟関連費用により減益。 これらの影響を除く営業利益額は前年同期並みで推移。

前年同期比	事業別売上	コメント
↗	シュリンクラベル	主要顧客向け新規案件受注増により増収。 前年設備増強したノースカロライナ工場の生産量増大が増収に寄与。
↗	タックラベル	前年度採用延期となった日用品顧客向け新規案件の受注、 および主要顧客の生産量増加により増収。
↗	ソフトパウチ	新規食品顧客向けインバーティッドパウチ採用拡大。 食品業界に向けて更なる採用拡大の取組み中。
↘	機械	新台の売上計上時期の影響により、前年同期比で減収。 受注残・出荷計画に変更はなく、通期では公表値通りの着地を見込む。

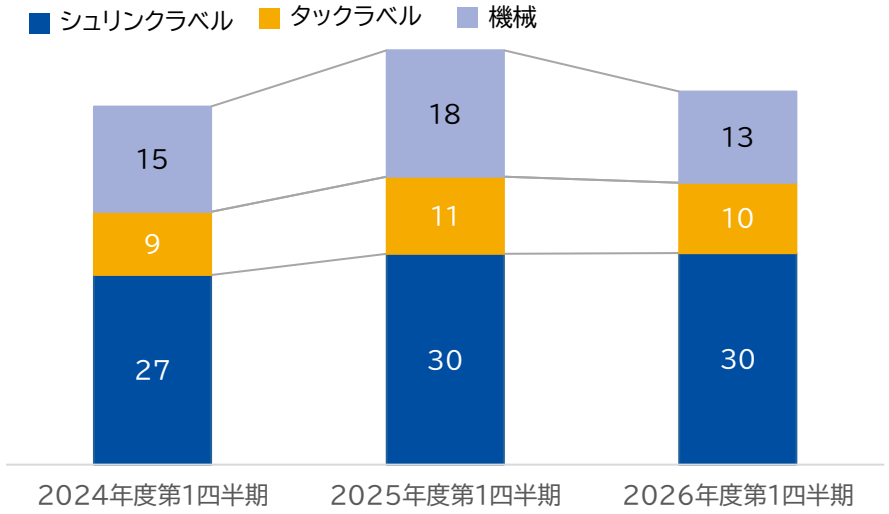
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

欧州

業績推移（百万ユーロ）



事業別売上（百万ユーロ）



日本円の業績を対象年度の為替レートで除して算出

2026年度 第1四半期レビュー

中東情勢による影響
・ ホルムズ海峡封鎖による影響は軽微　※欧州第1四半期が1月～3月のため

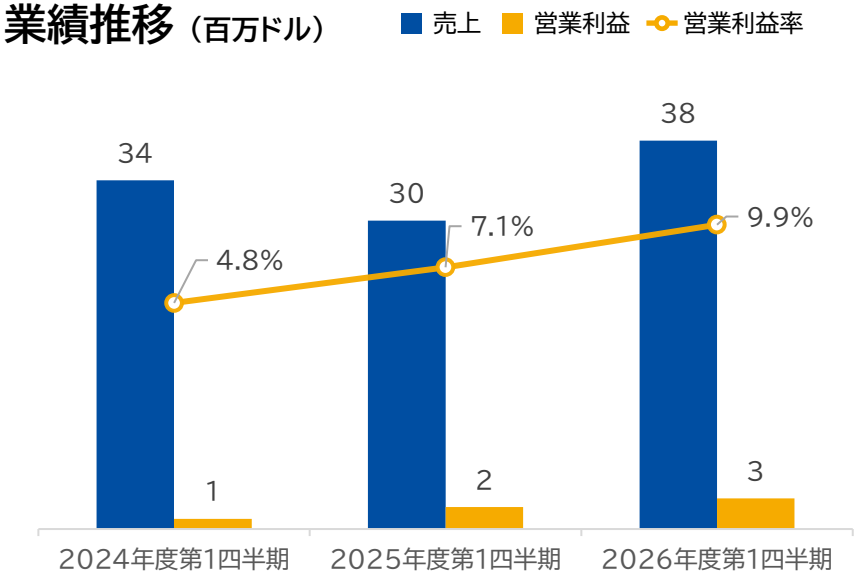
前年同期比	セグメント全体	コメント
↘	売上	機械事業の前年同期比での販売台数減と、大手顧客向けタックラベル需要減により減収。
↘	営業利益	機械売上減少および固定費比率増により減益。生産体制最適化と原材料見直しによるコスト削減施策は計画通り進捗。

前年同期比	事業別売上	コメント
→	シュリンクラベル	第1四半期としては前年同期並みも、受注は増加傾向。飲料・日用品・コスメ分野の高付加価値案件に注力。
↘	タックラベル	大手顧客の需要減により減収。顧客拡大と製品ポートフォリオマネジメントを継続推進。
↘	機械	機械案件の売上計上時期の影響により前年同期比で減収。医薬業界向け機械を含めた出荷計画に変更はなく、今後の進捗により通期では公表値通りの着地を見込む。

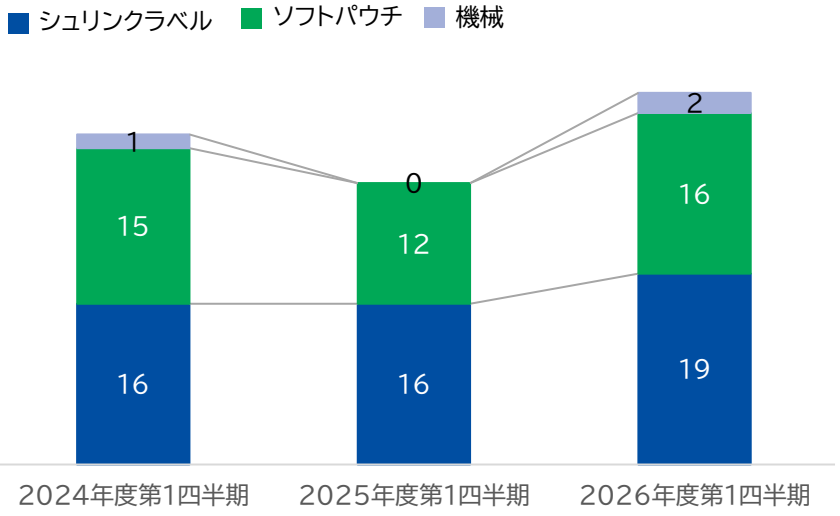
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

アセアン

業績推移（百万ドル）



事業別売上（百万ドル）



日本円の業績を対象年度の為替レートで除して算出

2026年度 第1四半期レビュー

中東情勢による影響
- タイでは供給懸念により原材料価格が急騰したが、タイムリーな価格改定を実施
- 原材料価格は一旦沈静化の兆しあるも、不透明な状況続く

※ベトナム・インドネシアは第1四半期が1月～3月のため影響軽微

前年同期比	セグメント全体	コメント
↗	売上	シュリンク事業の飲料・日用品顧客向け、パウチ事業のレトルトパウチの売上が好調。タイムリーな価格改定も寄与し増収。
↗	営業利益	従前からの収益改善施策により利益創出体質を構築。加えて、価格改定効果が原材料価格上昇影響に先行したことにより、一時的に利益率が向上。

前年同期比	事業別売上	コメント
↗	シュリンクラベル	飲料・日用品顧客向け新規受注を獲得し増収。機能性・プレミアム乳製品向けなど新規用途の引き合い増加。
↗	ソフトパウチ	ローカル顧客需要が伸長し増収。成長市場であるミニパウチの受注開始、レトルトパウチの拡大など注力分野での拡販が進展。
↗	機械	飲料・日用品顧客向け案件が進展、第2四半期以降の売上貢献を見込む。

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

Appendix

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

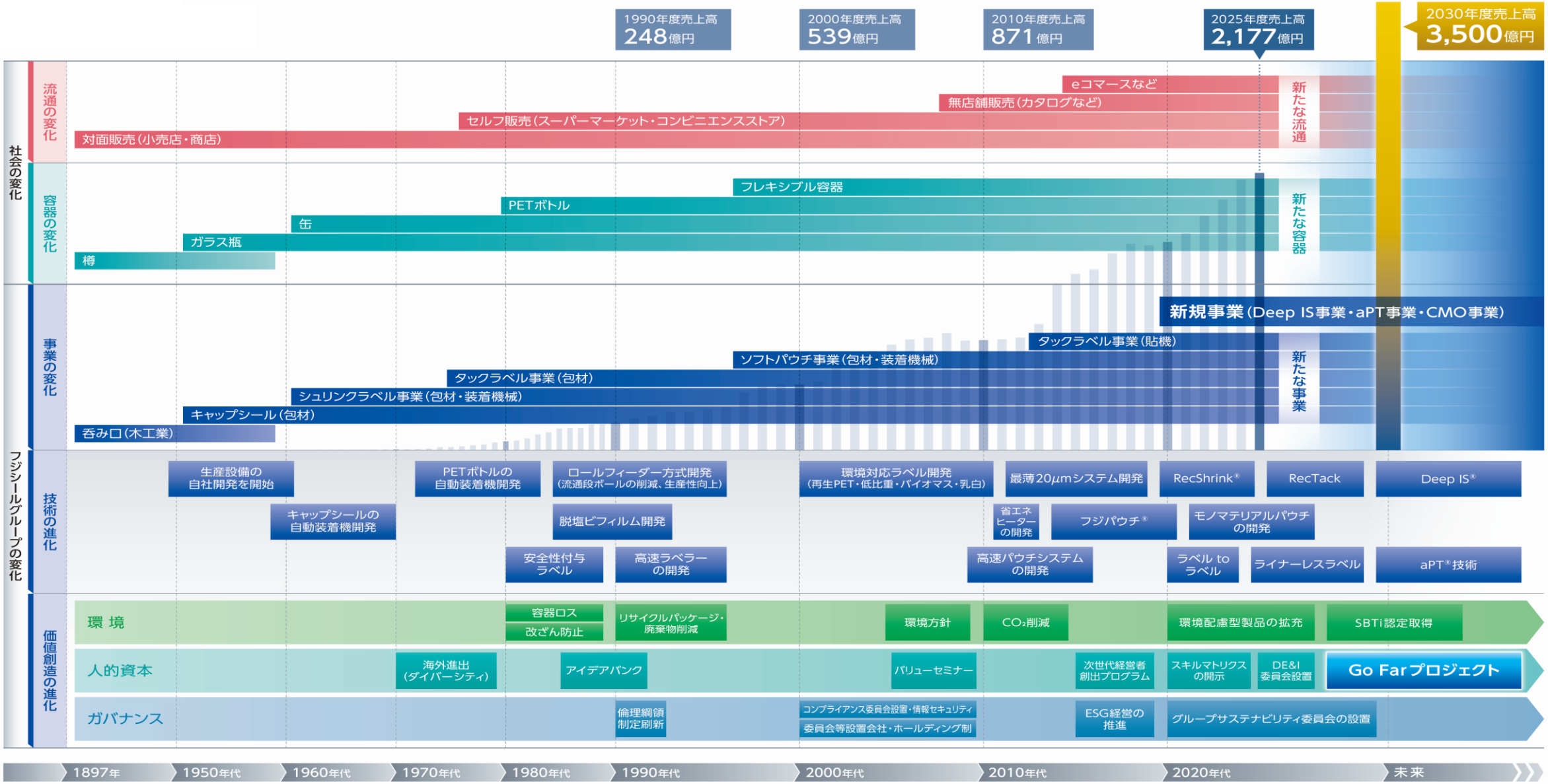


会社概要

2026年3月31日現在

商号	株式会社フジシールインターナショナル(Fuji Seal International, INC)
設立	1958年(昭和33年)10月18日 (創業1897年) ※2004年10月1日持株会社化に伴い、株式会社フジシールより商号変更
資本金	59億90百万円
連結売上高	2,177億52百万円
代表者	取締役　代表執行役社長　岡﨑　成子
事業内容	持株会社として、フジシールグループ全体の経営戦略の策定・推進、グループ経営の監査、その他経営管理など。 ※フジシールグループはシュリンクラベル、タックラベル及びソフトパウチをその装着機械とサービスまでシステムとして、 グローバルに展開するパッケージングソリューションカンパニーです。
従業員数	当社従業員数:46人、グループ連結従業員数:5,670人 ※従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は除く
本社所在地	大阪本社／〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番9号　TEL:(06)6350-1080(代表)

事業のあゆみ/ 売上高推移



© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

グローバルプレゼンス

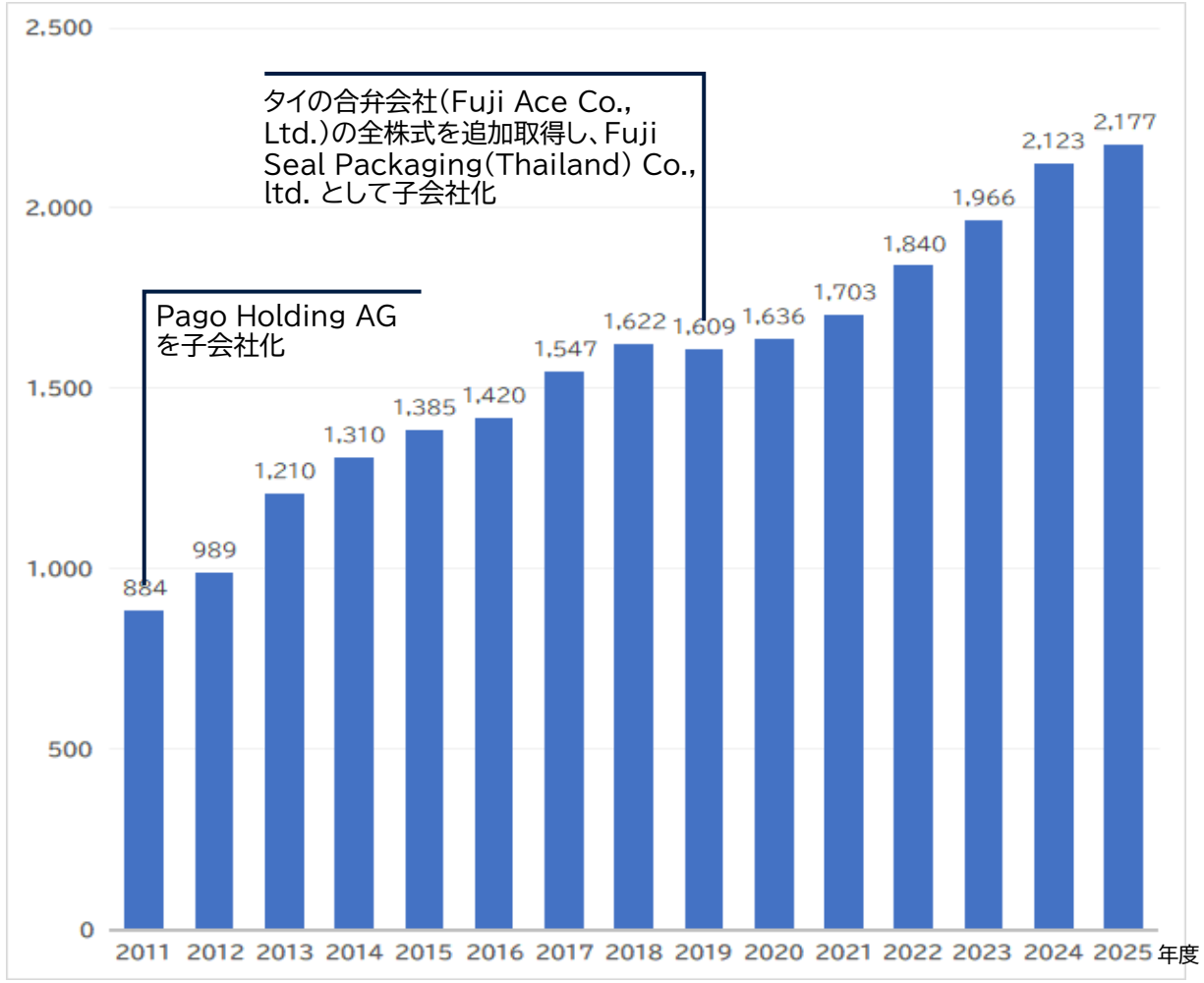


各地域で育まれてきた特性と文化を大切にし、現地でお客様の声を直接お聞きし地産地消のビジネスを行う。
そのノウハウをグローバルで共有し、融合させることでその地域独自のものに発展させ、さらにビジネスを拡大する。その長い積み重ねにより、お客様と共に各地域でのビジネスを成長させてきました。

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

連結売上高と営業利益の推移

連結売上高



営業利益/売上高営業利益率

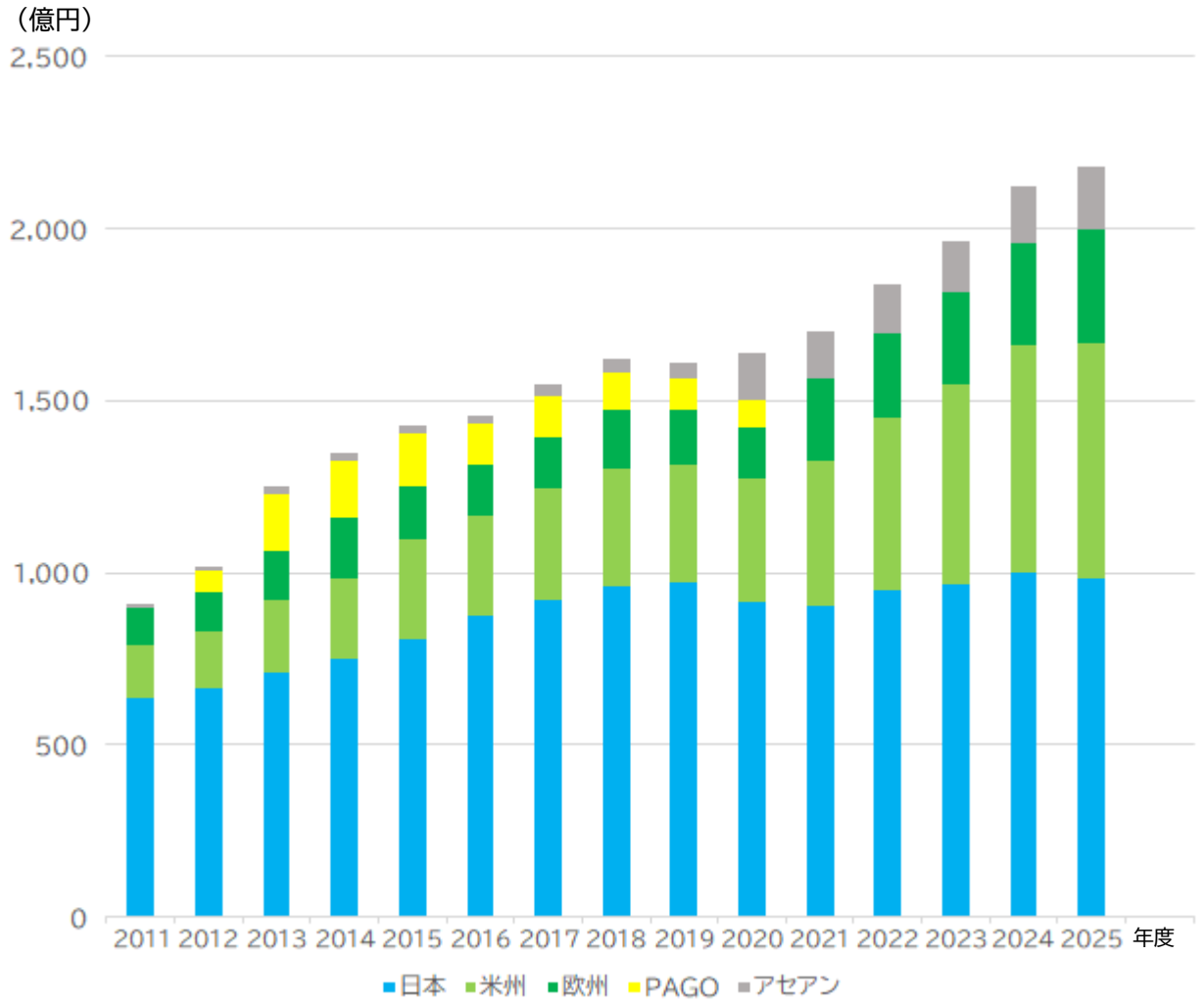


連結売上高は、PAGOおよびFujiAceの子会社化などを経て右肩上がりに成長。収益性は、ポーランド工場火災、コロナ禍の原材料高騰に伴う2度の落ち込みを経験するも、価格改定、ポートフォリオマネジメント、構造改革、生産性向上など多方面からの収益性改善施策を講じ、ともにV字回復を達成。2023年度以降成長を継続。

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

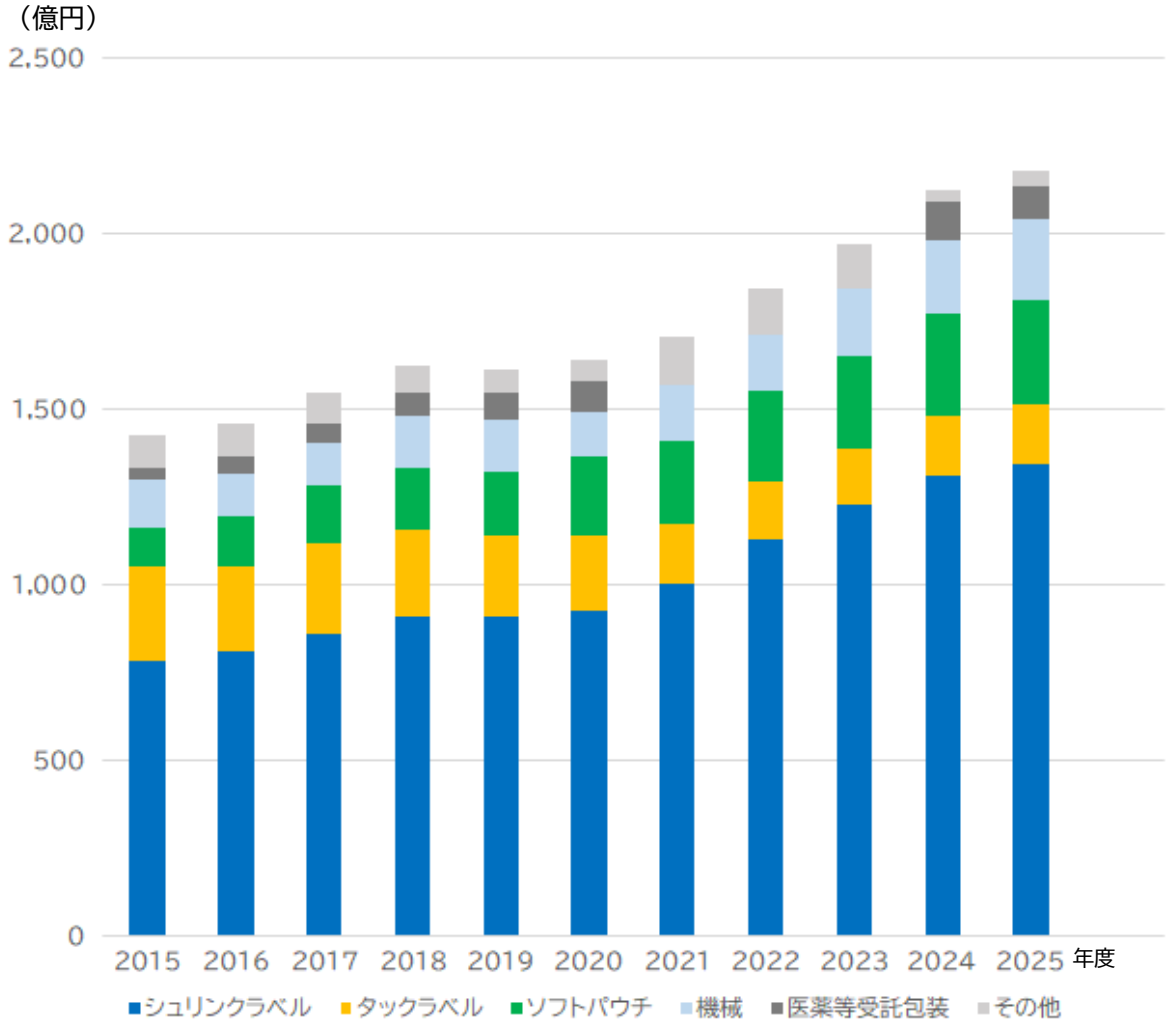
リージョン(地域)別、品目(事業)別売上高

リージョン(地域)別売上高



2019年度までの日本の成長に加え、近年は海外リージョンが著しく成長。

品目(事業)別売上高



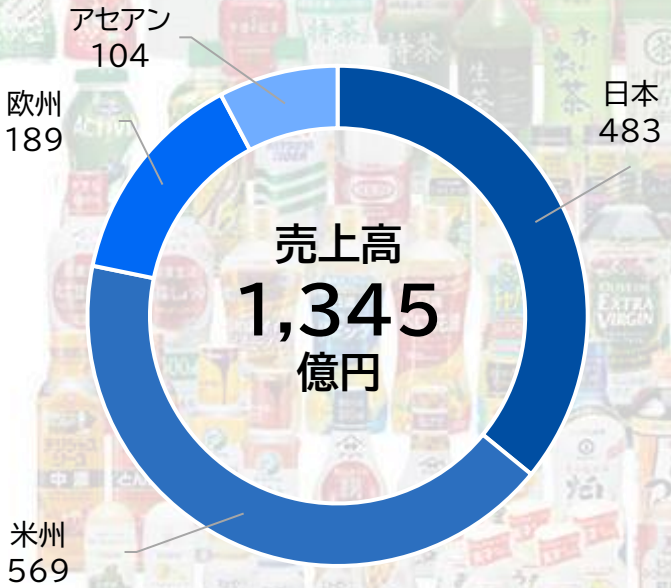
シュリンクラベル、ソフトパウチ事業が安定的に成長。近年は海外リージョンでの機械事業も伸張中。

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

既存事業紹介　シュリンクラベル事業（シュリンクラベラー）

シュリンクラベルは、1961年に当社が世界に先駆けて開発しました。
熱で収縮するフィルムでできており、どんな形の容器にもぴったりフィットし、360度の表示が可能な唯一のラベルです。
グローバルで高い市場シェアを誇り、幅広い用途（PETボトル飲料、酒類、乳業、食品、日用品、医薬品など）で幅広く使用されています。

セグメント別売上高（2025年度）



地域間取引金額を含む
単位：億円

目標

■次の収益の柱を創造：新市場、リージョンM&A含む
■海外売上比率拡大：60%→70%
■日本市場での事業基盤の強化
　→事業ポートフォリオ変革による事業成長

強み

■機械＋シュリンクラベルのシステムソリューションと
　グローバルプレゼンス





	機械事業内のカテゴリ			
	開発	製造	アッセンブリ	サービス
日本	○	○		○
米州			○	○
欧州	○	○		○
アセアン			○	○
インド				○

課題

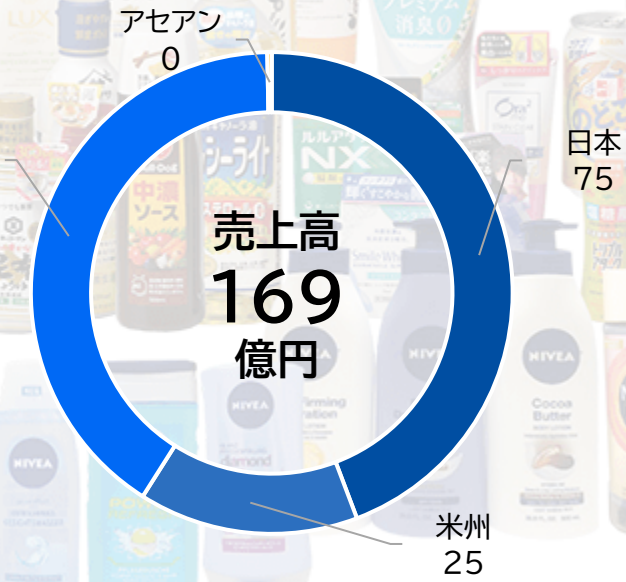
■成長リージョンと最新生産設備への積極的投資
■製品ポートフォリオ最適化による新市場活性化

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

既存事業紹介　タックラベル事業（タックラベラー）

タックラベルは幅広い業界と商品に使われており、社会生活に欠かせないパッケージのひとつです。
1975年に日本で本格的にタックラベル事業を開始し、加飾性、機能、環境側面を考慮した様々なタックラベル製品を市場に提供し続けています。

セグメント別売上高（2025年度）



地域間取引金額を含む
単位：億円

目標

■特定タックラベル市場におけるNo.1ポジション

強み

■グローバル顧客に対応できるQCD
■ライナーレス*1による新規Bizの創出
■技術力（カラーマネジメント、ライナーレス）
■医薬市場向け高速タックラベラーの信頼性
　→欧州、米州、インド

＊1　ライナー（剥離紙）を用いないタックラベル

課題

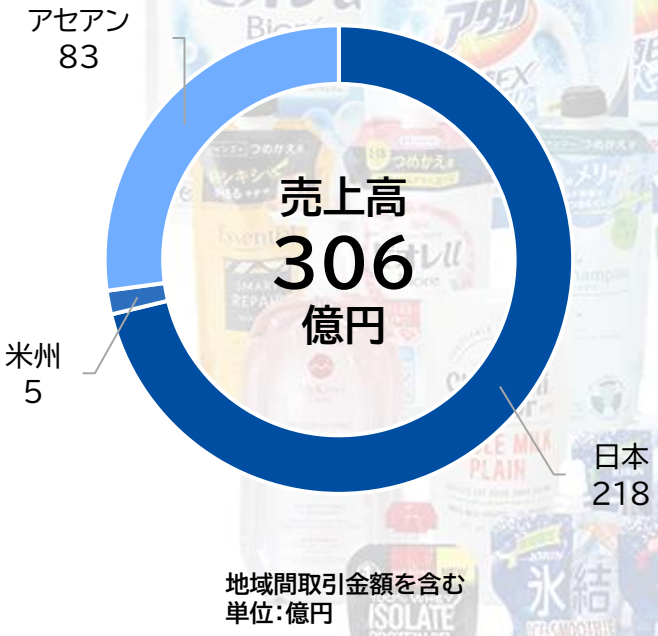
■海外事業の収益性向上
■システムセールスの強みの発揮
■アライアンスによる新規顧客・業界・地域の拡大

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

既存事業紹介　ソフトパウチ事業

ソフトパウチは、飲料・日用品・医薬流動食市場などで、従来の固定容器に変わる軟包装容器です。当社では、口栓のついた「スパウトパウチ」に特化し、利便性・環境対応・製造効率などの課題を解決し、新たな価値を提供することに取り組んできました。

セグメント別売上高（2025年度）



地域間取引金額を含む
単位：億円

目標

■人と環境にやさしい一次包装*1の創造と拡大
■ソフトパウチを第2のコア事業へと成長
■2030年度に2024年度比で売上倍増

強み

■口栓付パウチの製袋技術
■機械との協働検証プロセス
■ネットワークを生かした委託充填先との協働

課題

■山形新工場、プラカサ新工場稼働による供給体制拡充を見据えたBiz成長と基盤構築
■委託充填先拡充による新分野のビジネス開発（パッカー戦略）
■環境対応パウチを活用したリジット容器の置換

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

FSG.30　成長戦略

培ってきた強みと盤石な事業基盤をさらに洗練し、3つの戦略で持続的な成長を目指す

強み

- 優良な顧客
- グローバルプレゼンス
- 強い商品力

×

事業基盤

- 財務
- 人的資本
- 環境との共存
- ガバナンス
- 知財戦略

成長戦略

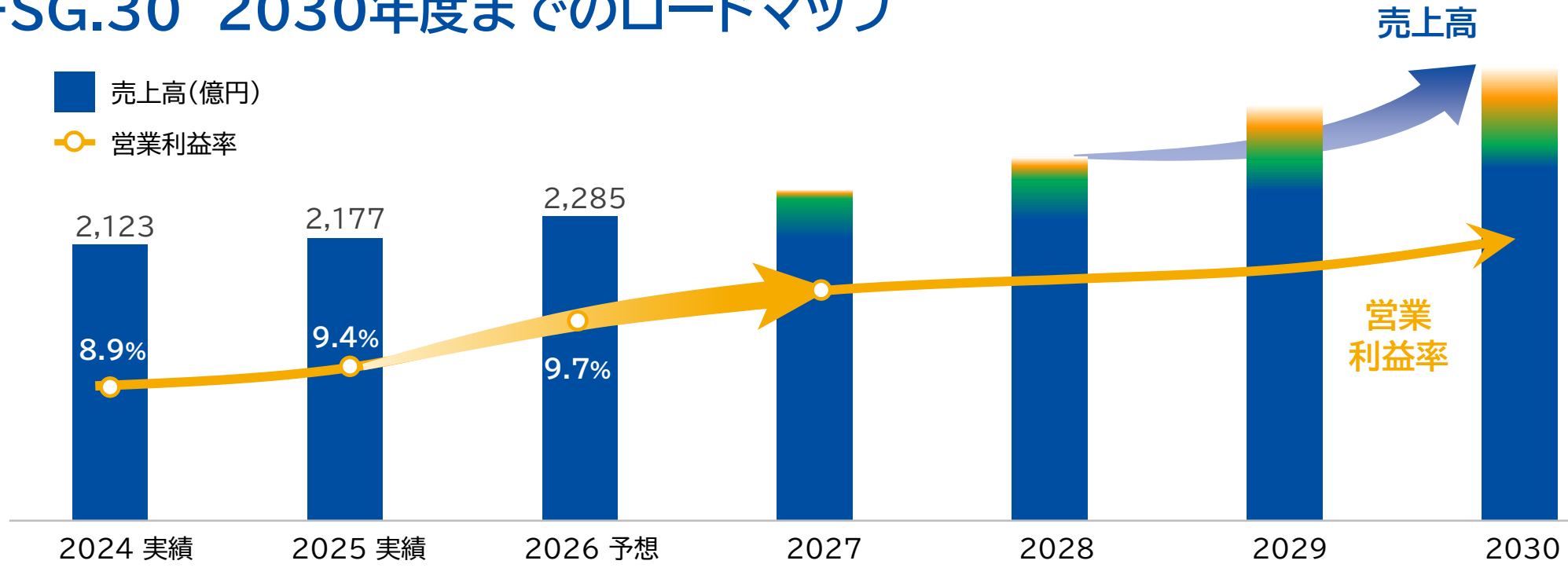
- 次世代に繋がる新たなビジネスモデルの創造
- 製品マーケット・ターゲットエリアの拡大
- 既存事業の着実な強化

← サステナブルな事業成長 →

2026年度　2030年度

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

FSG.30 2030年度までのロードマップ



2030年度目標

売上高
3,500億円

営業利益率
2桁%

2年間の成果

2024-2025

- 事業ポートフォリオマネジメントによる不採算事業からの撤退
- 利益率の着実な上昇とキャッシュ創出力の向上
- CMO, aPT, DeepIS事業の基盤作り

利益基盤の確立

2026-2027

- 営業利益率2桁%の達成
- 収益性向上投資の実行
- ポートフォリオマネジメントの深化
- 新市場・新事業への展開準備(CMO, aPT, DeepIS 他)

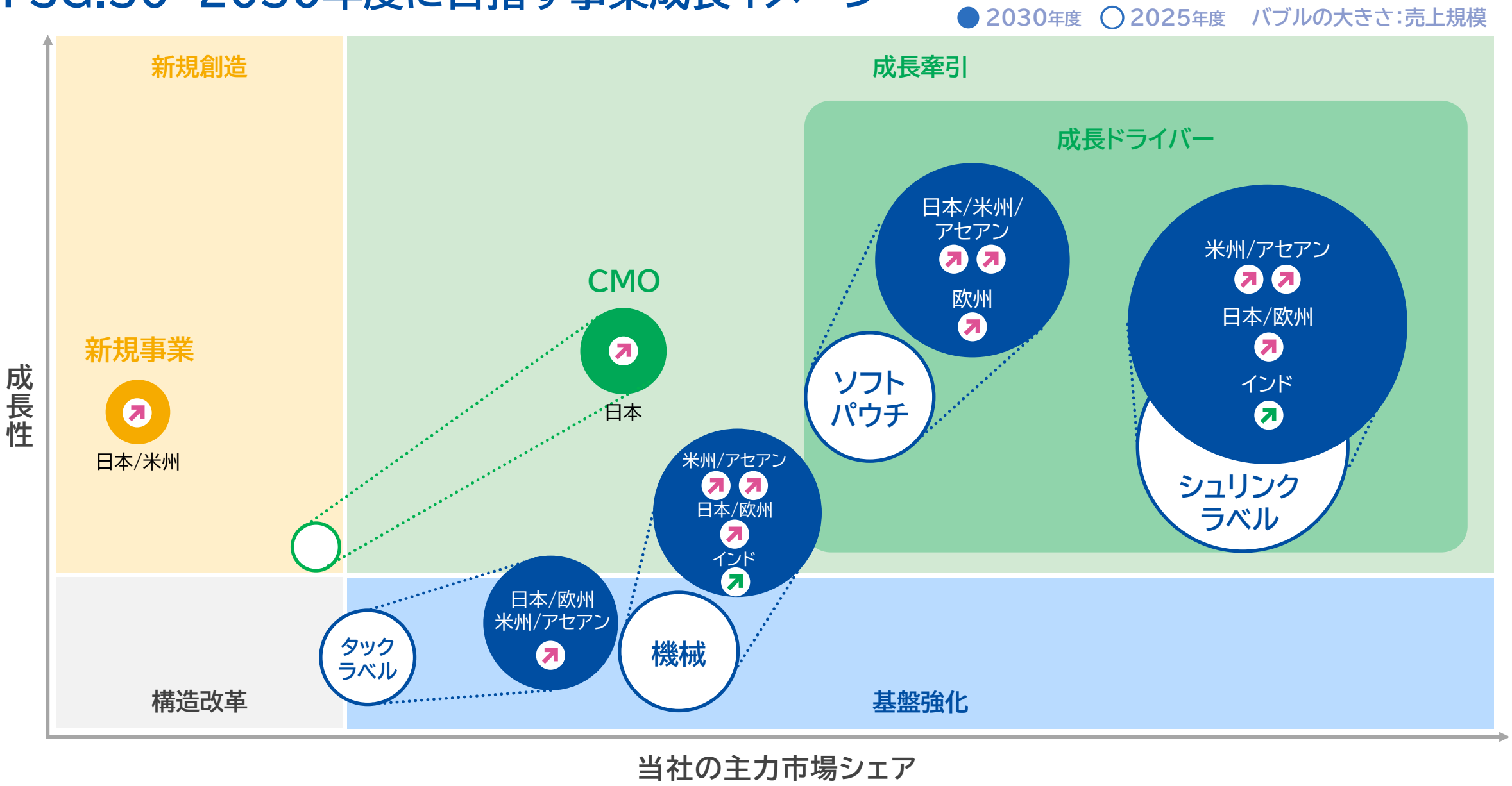
売上成長の加速

2028-2030

- 成長ドライバー拡大
- 新市場拡大(インド　他)
- 創出利益の再投資による成長加速
- 新事業収益化(aPT、DeepIS、他)

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

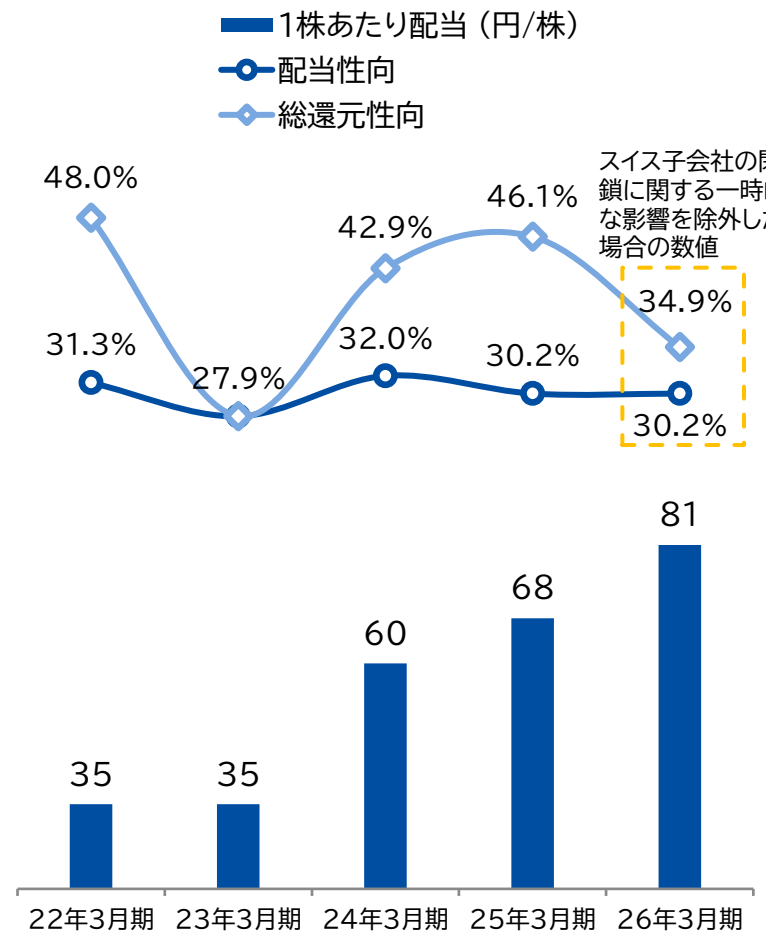
FSG.30 2030年度に目指す事業成長イメージ



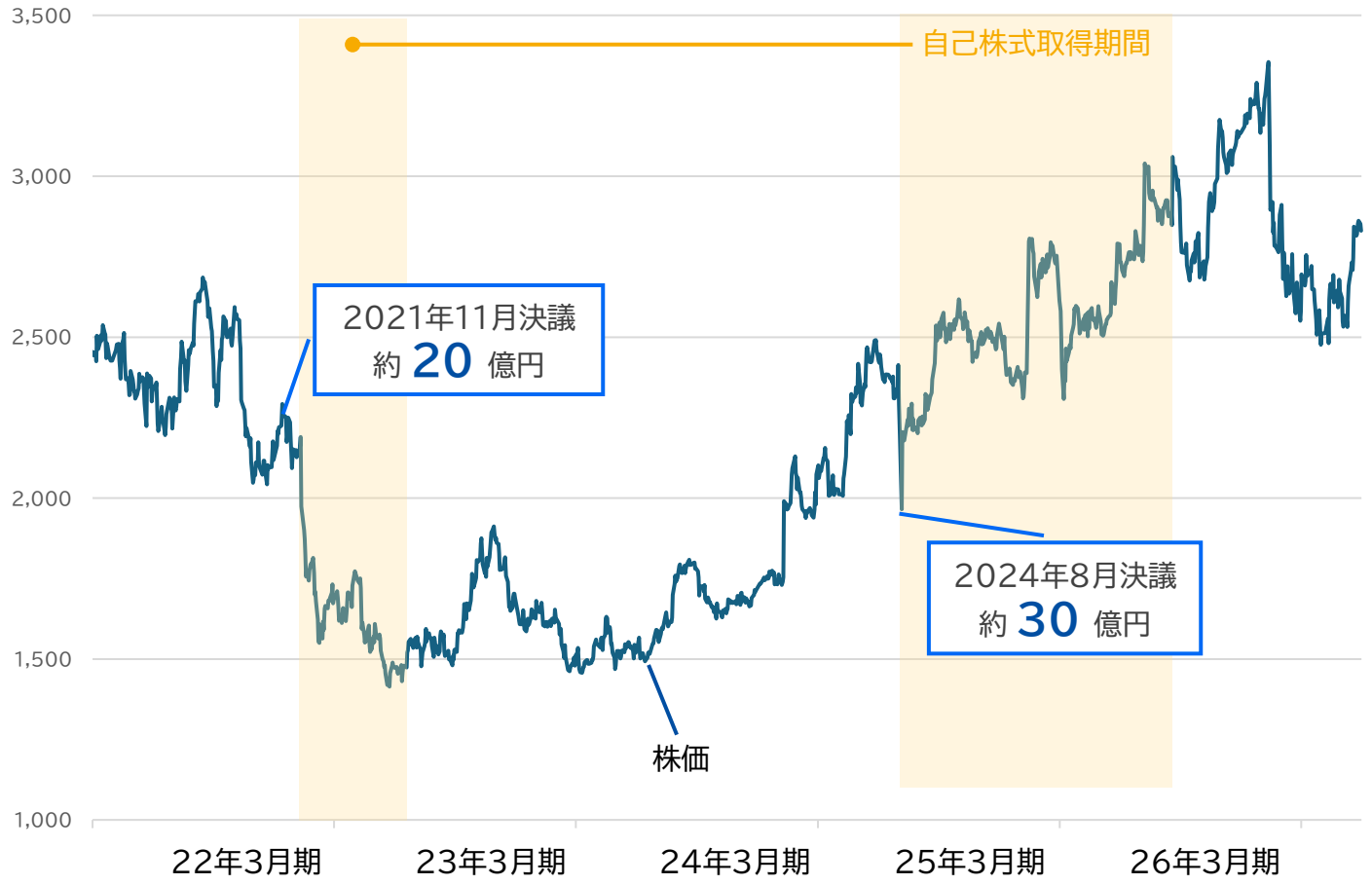
© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

株主還元実績

株主還元



株価の推移/自己株式の取得



© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

わたしたちのビジョン ～ありたい姿～

パッケージング市場で持続的成長

人と環境にやさしい価値を届ける

持続可能な社会の実現に
貢献する会社

ワクワクを創る会社
～ワクワクなしに成長なし～

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates

注意事項

当資料は、あくまでフジシールグループをよりご理解いただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。当資料には、業績見通し及び事業計画なども記載されておりますが、それらは各資料の作成時点においての経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうること、あらかじめご容赦くださいますようお願い申し上げます。

© 2026 Fuji Seal International, Inc. or its affiliates